【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公開番号】特開2008-253222(P2008-253222A)
【公開日】平成20年10月23日(2008.10.23)
【年通号数】公開・登録公報2008-042
【出願番号】特願2007-101565(P2007-101565)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｄ　34/68　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｄ　34/68　　Ｃ
Ａ０１Ｄ　34/68　　Ｎ
Ａ０１Ｄ　34/68　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成22年4月5日(2010.4.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
図１に示すように、この携帯式動力刈払機Ａは、操作管１００と、この操作管１００の基端部に連結されたエンジン２００と、操作管１００の先端部に取付けられた回転刃３００と、操作管１００の先端部に支持され、回転刃３００の上面の一部と後方側の外周を覆う飛散防止カバー４００とを備えて大略構成されている。操作管１００には、操作ハンドル１０１が取付けられている。作業者は、操作管１００の適部に連結された肩掛けベルトを肩に掛け、操作管１００を吊り下げるようにしつつ、操作ハンドル１０１を操作して、操作管１００を左右に振回し、回転刃３００を地面に沿って移動させることにより、刈払い作業を行う。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
図２および図３に示すように、操作管１００は、パイプ状の部材で構成され、基端側の第１部分１００Ａと、先端側の第２部分１００Ｂとを備えている。第２部分１００Ｂは、第１部分１００Ａに対し、回転刃３００の近傍において、横方向の軸１１０を中心として回動可能に連結されている。操作管１００の内部には、伝動軸保持管１２１が内装され、この伝動軸保持管１２１の内部には、伝動軸１２０が通挿されている。伝動軸１２０の基端側は、図示しないクラッチ機構を介して、エンジン２００の出力軸に連携されている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
上記連結部材１４０の筒部１４０ａには、回転刃支持部材１６０がその基端筒部１６０

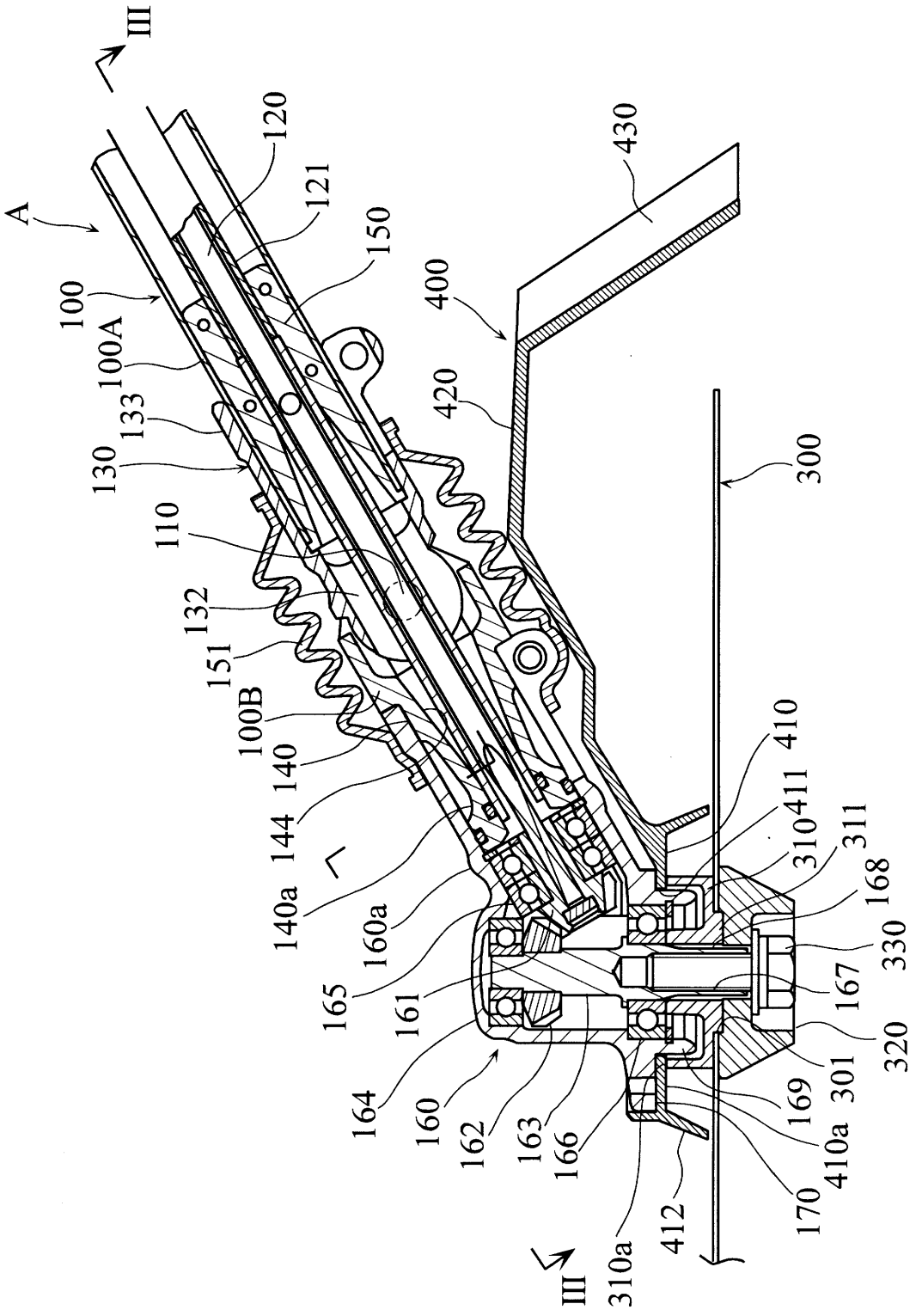
ａを嵌め込むことによって連結されている。回転刃支持部材１６０は、上記伝動軸１２０の先端部が挿通接続された第１の傘歯車１６１と、この第１の傘歯車１６１に噛み合う第２の傘歯車１６２と、この第２の傘歯車１６２が取付けられた回転刃支持軸１６３とをハウジング１６４に内装して構成されている。第１の傘歯車１６１および回転刃支持軸１６３は、それぞれ、ハウジング１６４に対してベアリング１６５，１６６を介して回転可能に支持されている。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
基端側取付け部４１０は、ハウジング１６４の上記円筒型突部１６９の外径と対応した穴４１１をもつドーナツ状円板部４１０ａからなる。なお、本実施形態では、上記ドーナツ円板部４１０ａの外周からスカート筒状に回転刃３００の上面近傍までのびる巻き込み防止壁４１２が一体となって形成されている。この基端側取付け部４１０は、その穴４１１を上記円筒型突部１６９にその根元まで嵌め込むとともに、上記した回転刃挟持用第１部材３１０に設けた挟圧部３１０ａとフランジ状支持面１７０との間にドーナツ状円板部４１０ａを挟持することによって取付けられる。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４４】
Ａ　　携帯式動力刈払機
１００　操作管
１００Ａ　第１部分
１００Ｂ　第２部分
１２０　伝動軸
１６０　回転刃支持部材
１６３　回転刃支持軸
２００　エンジン
３００　回転刃
４００　飛散防止カバー
４１０　基端側取付け部
４２０　上面被覆部
４３０　外周被覆部

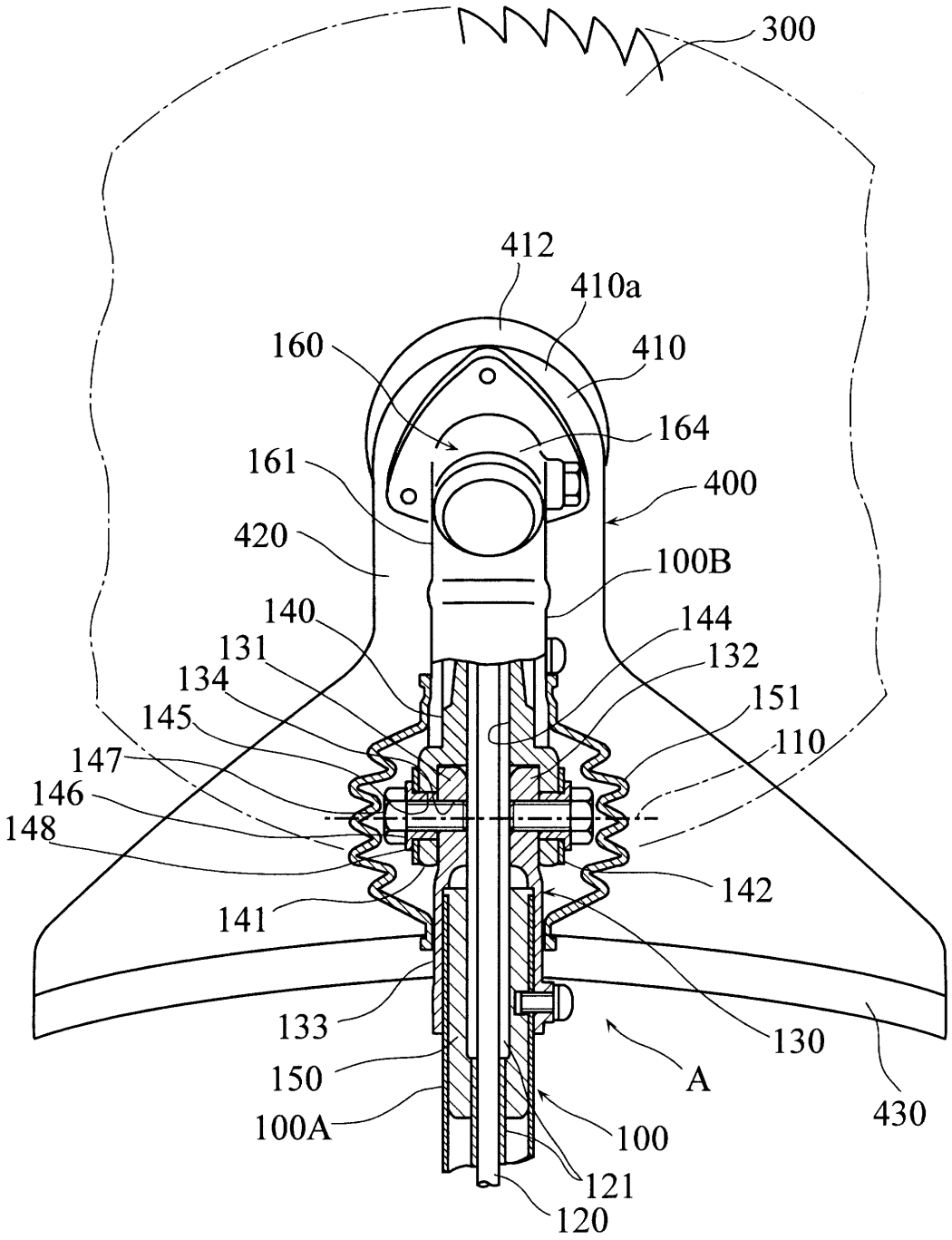
【手続補正６】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図２
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図２】



【手続補正７】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図３
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図３】


300
412
410a
160
410
164
161
400
420
100B
140
144
131
132
134
151
145
110
147
146
148
142
141
133
130
150
A
430
100A
100
121
120